

(別紙報告書)

取り組み内容 タイトル

市貝町にオリーブを！～耕作放棄地の対策と景観保護～

令和5年3月

市町名 市貝町

【市町・地域の概要】

市貝町は、栃木県の県東地区に位置する人口約12,000人の町で、東西9.9km、南北15.6kmの長方形をしており、美しい自然や多くの動植物が共生しています。

農業では、昔から続く水稻を中心にトマトやイチゴが盛んであり、最近ではアスパラや人参などの生産も増えてきています。

【取組前の状況・課題等】

町内の農業者人口が減少の一途をたどり、特に山間部である北部地区をはじめとして、耕作放棄地が目立ってきている。

その原因として、農業者の高齢化や直近の物価高騰など様々な要因が考えられる。

年々増加する耕作放棄地を解消するとともに、町内の景観保護をしていくことが喫緊の課題である。

【取組内容】

市貝町農業委員会では、こうした現状の課題を是正するために、新たな作物の可能性を見出し、振興していくことを決めました。そこで、オリーブに目をつけ、群馬県館林市の「(株)ジャングルデリバリー」へ研修に行き、今後の推進に向けた試験的な定植活動を行っています。



【今後の展開と方向】

今回の定植試験が上手くいき、越冬や地域の土質が問題なければ、市貝町内でのオリーブ推進をしていく予定です。

《スケジュール》

- ・R5.3 下旬～R5.4 町内候補地へのオリーブ苗木定植（連携先指導付き）
- ・R5.12 頃 苗木の剪定作業及び越冬準備（連携先指導付き）